授業科目名	コミュニケーションⅠ		科目コード	１０１２	
開講クラス	介護福祉学科	コース	介護福祉士コース	学　年	１年
担当教員	黒木　朋子				
	実務経験教員（　有　・　無　）				
開講時期	前期・後期・通年・特別講義・その他			授業コマ数	３０時間
	必　須　・　選　択　・　選択必須			単　位　数	１単位
使　用 テキスト１	書　名	最新・介護福祉士養成講座『コミュニケーション技術』			
	著　者	飯干　紀代子　他			
	出版社	中央法規出版			
使　用 テキスト２	書　名				
	著　者				
	出版社				
参考図書					
授業形態	講義　・　演習　・　実習　・　実験　・　その他（　　）				

＜授業の目的・目標＞
・さまざまな場面でのコミュニケーションは、一人ひとりその場に応じたコミュニケーションが必要である。実際の場面を想定したコミュニケーションをとることができるようになると共に、利用者や利用者家族、あるいは多職種連携におけるコミュニケーション能力を身につけるための学習とする。
・コミュニケーション技法の目的や効果を理解し、説明できる。

＜授業の概要・授業方針＞
・介護におけるコミュニケーションの基本と介護場面での利用者・家族とのコミュニケーションを解説する。
・事例を基にグループワークやロールプレイングを行う。
・実習での経験を通して、事例検討を行う

＜成績基準・評価基準＞
・授業態度、積極性、提出物、試験、出席状況（当該科目の年間出席時間数が履修すべき授業時間数の３分の２以上であること）から総合的に評価する。
・前期・後期試験において
評価基準：１００点法で６０点以上の成績、その他総合的な評価を含め合否判定する。

＜使用問題集・注意事項＞
・介護福祉士国家試験過去問解説集
過去問において出題傾向を分析し、重要ポイントを再確認する。

＜授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他＞
・ボランティア、施設見学、（施設・在宅）介護実習

授業科目名	コミュニケーションⅠ	
回	授　業　内　容	備　考
１	オリエンテーション／シラバスの説明	
２	コミュニケーションの意義・目的	
３	介護におけるコミュニケーションの対象	
４	介護福祉職のコミュニケーション支援の対象	
５	援助関係を構築するための原則・バイステックの７つの原理	
６	援助関係を構築するための原則・バイステックの７つの原理	
７	援助関係とコミュニケーション	
８	援助関係とコミュニケーション	
９	コミュニケーションの基本技術	
１０	コミュニケーションの基本技術	
１１	コミュニケーションの基本技術	
１２	コミュニケーションの基本技術	
１３	言語・非言語コミュニケーション	
１４	言語・非言語コミュニケーション	
１５	目的別のコミュニケーション	
１６	目的別のコミュニケーション	
１７	目的別のコミュニケーション	
１８	目的別のコミュニケーション	
１９	集団におけるコミュニケーション	
２０	集団におけるコミュニケーション	
２１	集団におけるコミュニケーション	
２２	集団におけるコミュニケーション	
２３	コミュニケーション障害への対応	
２４	コミュニケーション障害への対応	
２５	コミュニケーション障害への対応	
２６	コミュニケーション障害への対応	
２７	コミュニケーション障害への対応	
２８	コミュニケーション障害への対応	
２９	まとめ	
３０	まとめ	